

# 希望は絶望のど真ん中に

人類と個人・世界と地域—秋田・東北・ジャーナリズムを語る

むのたけじ講演会

## 5月15日(水)15:00 日本プレスセンター

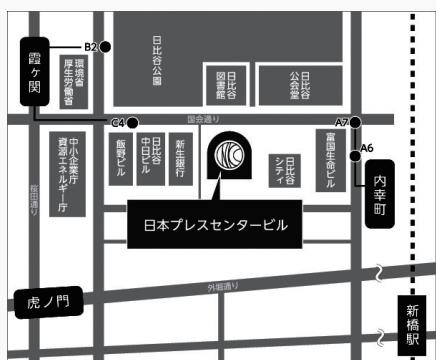
あくなき世界平和を望み、98歳のジャーナリスト・むのたけじが、今問う！  
人間とは、東北とは、ふるさと秋田は、真のジャーナリストは、絶望から希望は見いだせるのか…と。ぜひ、ご参加ください。



### むのたけじさん プロフィール

1915年1月2日に秋田県仙北郡六郷町（現・美郷町）で百姓の子として生まれた。1936年3月に東京外国语学校を卒業、報知新聞に入社、地方支局と社会部で働く。1940年12月に職場を朝日新聞東京本社に移して社会部で働き、戦場にも出かけた。1945年8月の敗戦時に新聞人としての戦時体験を反省、ケジメとして朝日新聞を退社。そして苦悩の2年半を過ごす。1948年2月に秋田県横手市で「たいまつ新聞社」を作り、タブロイド判『週刊たいまつ』を発行。破壊された農業・農村を立て直し、戦争要らぬ・やれぬ社会づくりを提言。青壯年と女性の学習運動に努力した。経営は困難で、それを家族全員の労働で補いながら、発行を30年続けたが、1978年1月第780号を出して休刊。

それから今日まで、常に生活者の視点から日本の姿を見つめ、鋭く深い思索に裏打ちされたことばを紡ぎだしてきた。日本は果たして生まれ変わったのか？を問いかけながら、今も「戦争のない社会の実現」に向けて言論活動を続けている。主な著書：『たいまつ16年』岩波現代文庫、『詞集たいまつI～VI』評論社、『戦争絶滅へ、人間復活へ』岩波新書、『希望は絶望のど真ん中に』岩波新書



日 時 2013年5月15日(水)15:00～17:00

場 所 日本プレスセンター 9階

(千代田区内幸町2-2-1 地下鉄霞ヶ関駅下車徒歩2分)

参 加 費 2000円 (会場費・資料代)

(17時から懇親会予定。懇親会参加費 3,000円)

締 切 2013年5月10日(先着 90名)

主 催 首都圏秋田懇話会

(※首都圏秋田懇話会は年4回、秋田出身者の有志が例会、集いなど故郷秋田の活性化に想いを寄せての会です(代表世話人:澤木誠一、運営委員長:山本巖))

協 力 秋田県東京事務所/首都圏秋田県人会連合会/在京秋田県高等学校同窓会連合会/秋田を応援する首都圏文化会議/秋田ふるさと応援団/埼玉新聞サポートクラブ/マスコミ市民/東京美入野同窓会/わか杉会/さいたま市秋田ふるさと会/ようこそ秋田移住促進会議/東京かまくら会/在郷六郷会(3月20日現在)

問合せ先 首都圏秋田懇話会 (担当運営委員:藤井亮子03-3501-9188)

### 5月15日 <むのたけじ講演会>参加申込書

※参加希望者は住所、氏名、連絡先を記入のうえ下記まで(切り離さずA4のまま)FAXをお願いいたします。  
いただいたデータはこの集い以外には使用しません。

参加者氏名

連絡先 (電話又はメールアドレス)

住所

月 日

※17時からの懇親会

・ 参加します

・ 参加しません

(○をつけてください)



第29回国民文化祭  
あきた2014  
発見×創造  
もうひとつの秋田  
協賛事業